

宇野弘藏教授略年譜

雑誌名	社会労働研究
巻	14
号	4
ページ	182-182
発行年	1968-03-15
URL	http://hdl.handle.net/10114/00017806

宇野弘蔵教授略年譜

一八九七年（明治三〇年）十一月二日、岡山県倉敷町で生まれる。

一九一五年（大正四年）三月、岡山県立高梁中学校卒業。

七月、第六高等学校入学。

一九一八年（大正七年）六月、同校卒業。

七月、東京帝国大学法科大学独法科入学。直ちに経済学科に転科。

一九二二年（大正一〇年）四月、東京大学経済学部経済学科卒業。

五月、大原社会問題研究所嘱託となる。

一九二二年（大正一一年）九月以降、経済学研究のためヨーロッパに留学し、主としてベルリンに滞在。留学中に大原社研を辞す。

一九二四年（大正一三年）九月、帰朝。

一〇月、東北帝国大学助教授となり、同大学法文学部に勤務。

一九二五年（大正一四年）九月以降、経済学第三講座（経済政策論）を担当。

一九三八年（昭和十三年）二月、いわゆる労農派教授グループ事件で検挙さる。

一二月、起訴され、休職を命じられる。

一九三九年（昭和一四年）一〇月、仙台地裁で第一審無罪の判決をうける。

一九四〇年（昭和一五年）一二月、宮城控訴院で第二審無罪の判決をうける。

一九四一年（昭和一六年）一月、東北帝国大学法文学部教授会で復職の決定をみたが、これを辞退する。

三月以降、日本貿易振興協会日本貿易研究所に勤務。

一九四四年（昭和一九年）六月、同研究所を辞す。

七月以降、三菱経済研究所に勤務。

一九四六年（昭和二十一年）三月、東北帝国大学講師となる。

一九四七年（昭和二十二年）一月、三菱経済研究所を辞し、東京帝国大学社会科学研究所嘱託となる。

六月以降、東京帝国大学教授となり、同大学社会科学研究所に勤務。

一九四九年（昭和二十四年）六月、同研究所所長に就任。

一九五二年（昭和二十七年）二月、同研究所長を辞任。

一九五三年（昭和二十八年）五月以降、東京大学大学院社会科学研究所理論経済学・経済史学課程を担当。

一九五八年（昭和三十三年）三月、同研究所を辞す。
四月、法政大学社会学部教授となる。